

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

								担当課	学校教育課
①総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と豊かな心を育むために	②政策名 (基本施策名)	信頼される学校教育を推進する	③取組の 基本方向	「信頼される学校教育を推進する」ため、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成するための「学力向上の推進」、心身ともにたくましい児童生徒を育成するための「豊かな人間性と健やかなからだの育成」、信頼性の高い、特色と魅力ある学校づくりのための「地域と連携した独自性のある学校経営の推進」、教育施設の安全性・快適性を高めるための「教育環境の充実」、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な教育を提供するための「特別支援教育の充実」、教職員の資質・専門性の向上を図るための「高い指導力と情熱をもつ教職員の育成」、生涯にわたる人間形成の基礎を培うための「幼児教育の充実」、市民の自己実現の一翼を担う「高校、高等教育の充実」に、重点的に取り組みます。	④政策目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。		

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	地域と連携した独自性のある学校経営の推進	① 施策の 達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)				
			H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標					
施策目標	各学校が、家庭や地域、企業と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めています。		-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値					
施策を取巻く 環境	本市においては、地域に開かれた学校づくりを推進しており、改正教育基本法においても学校と家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚するとともに相互に連携・協力を努めるよう明記されているなど、地域とともに信頼と魅力のある学校づくりを行う必要性が高まっている。		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----					
			-----	500	600	700	800	910	61.4%				
			210	559				910					
			-----					-----					
②市民の 施策満足度	20.2%	④ 施策の 評価	達成度 (単年度目標)	●	達成している (90%以上)		概ね達成 (70%~90%未満)		達成していない (70%未満)	説明	各事業において、着実に実施されており、単年度の目標を達成している。	⑤ 現状 課題の 抽出	施策の目標は達成されており、家庭や地域・企業と一体となって学校運営をすることは、施策目標を達成する上で有効であることから、今後も魅力ある学校づくり地域協議会事業をより一層推進するとともに、地域学校園を中心とした小中一貫教育事業の実現を目指して、地域の学校づくりを着実に推進する必要がある。
③市民の 施策重要度	67.9%		必要性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している	説明	学校が地域の人材や企業等と協力した活動を展開することにより、学校教育の活性化と開かれた学校づくりの推進が図られることから、地域等との連携の必要性は高い。		
			効率性 (事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が 一部ある		不十分な事業が 複数ある	説明	それぞれの事業が、目標値に対し、実績を上げている。		
			有効性 (政策目標への効果)	●	十分である		やや不十分である		不十分である	説明	地域と連携した学校教育の推進は、施策目標を達成するために有効である。		

3 今後の取組方針

①取組の 考え方	今後も魅力ある学校づくり地域協議会事業を推進するとともに、平成22年度のモデル地域学校園実施に向けての体制整備を行いながら、学校・家庭・地域が一体となった取組について、事業の着実な遂行と施策の推進を図る。	➡	②政策評価 会議意見	学校・家庭・地域が一体となった学校教育が求められている。引き続き、児童生徒が充実した学校生活を送るために、魅力ある学校づくり地域協議会事業における特色ある活動の充実や、学校マネジメントシステム、小中一貫教育などを着実に推進しながら、地域と連携した特色ある学校づくりをより一層進めていくこと。
-------------	--	---	---------------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	いきいき学校プラン推進事業 担当課 学校教育課	全小中学校	H18	うつのみや“いきいき学校”プランに基づく取組を実践する学校数	93	93	4,036	3,455	A	継続	豊かな心と健やかな体を持ち、創造性や共生の精神を備えた宮っこを育む教育活動の展開と、新しい時代にふさわしい学校づくりを進めるため、本事業を進めることは不可欠である。
					93	93					
2	魅力ある学校づくり地域協議会推進事業 担当課 学校教育課	魅力ある学校づくり地域協議会	H18	魅力ある学校づくり地域協議会設置数	39	91	5,333	10,912	A	継続	予定通り協議会の設置が進み、文部科学省委託事業である学校支援地域協議会本部事業も活用しながら、効率的に事業を実施している。各協議会では地域との連携・協力体制が一層整備され、学校教育の充実や家庭・地域の教育力向上のための事業が実施されている。今後は、各協議会における運営力を高めるための支援の充実を図ること
					39	91					
3	学校マネジメントシステムの推進 担当課 学校教育課	全小中学校教職員 魅力ある学校づくり地域協議会委員	H19	学校評価書を外部に公表している学校数	93	93	5,898	9,777	A	継続	システムの推進を通して、学校経営の改善及び地域の学校づくりの推進が図られており、今後とも、評価の信頼性・客観性を高めるためのシステム改善を図っていくこと。
					93	93					
4	小中一貫教育の推進 担当課 教育企画課	全小中学校全児童生徒 全教員	H19	小中一貫推進に係る会議	5	10	871	929	B	継続	小中一貫教育推進会議については、小中一貫教育に係るカリキュラムや人員配置など、小中一貫教育推進に係る意見書提出後廃止するが、今後とも、平成24年度の全市実施に向けて、小中一貫事業に係る事業を推進する。
					5	35					
5	小規模特認校事業 担当課 教育企画課	城山西小学校 清原北小学校	H17	小規模特認校入学児童数	50	50	2,420	1,428	B	継続	平成21年度の入学児童をもって複式学級が解消となり、小規模特認校事業の目的は達成することができた。今後は、複式学級とならないよう児童数を維持しながら、特色ある地域の学校づくりを進めていくことができるよう検討する必要がある。
					36	49					
6	通学区域の見直し 担当課 教育企画課	大規模・小規模に係る学校 遠距離通学地域 土地区画整理事業試行地区	H12	見直しを実行した学校数	2	16	1,097	1,213	B	継続	学校規模の適正化を図るため、区画整理地区や地域の実情に応じた学区の変更を個別に検討・実施していくこと。
					2	8					
7	小規模特認校放課後活動事業補助金 担当課 教育企画課	小規模特認校において放 課後活動事業を実施する 当該地域の団体	H17	登録児童数	139	169	6,010	6,010	B	継続	小規模特認校制度の今後のあり方の検討とともに、地域が主体となった放課後活動の在り方や支援方策等について検討すること。
					141	182					
8	学校協力者「街の先生」活動事業 担当課 学校教育課	全小中学校	H15	活用人数	3,600	3,000	830	284	C	継続	地域の教育力を学校教育に積極的に導入するためにも、事業を継続すること。
					2,247	2,728					
9	社会体験学習推進事業 担当課 学校教育課	全中学校2年生の全生徒	H14	参加生徒数	4,250	4,388	10,064	9,756	C	継続	生徒の第一希望を優先した事業所で5日間連続した体験活動ができるよう、各種団体とさらに連携を図りながら事業所を確保し、地域ぐるみで子どもを育成していくこと。
					4,133	4,270					
10	地域から学ぶ校外学習推進事業 担当課 学校教育課	全小学校3年生の全児童	H20	宇都宮城址公園見学校数	—	68	—	5,712	C	継続	社会科を学習する最初の学年である小学校3年生に、宇都宮城址を筆頭とする市内の文化資産を見学できる機会を与える本事業の有効性は高く、今後も継続すること。
					—	68					

様式 2

再掲	宇都宮大学教育学部連携事業負担金		全小中学校教員 市職員	連携協議会開催数	5	5			C	継続	市教委と宇都宮大学教育学部が、それぞれの特性を生かしながら、さらに役割分担を明確にし、より良い協力体制を構築し、学生並びに現職教員の資質向上のための積極的な取り組みの検討を進めていくこと。
	担当課	教育企画課			5	5					
施 策 事 業 費 合 計							36,559	49,476			